

# simc News Letter

Sendai International Music Competition

2023年8月20日号

## 仙台国際音楽コンクールニュースレター

第8回仙台国際音楽コンクールピアノ部門優勝者ルウオ・ジャチン出演  
「仙台フィルハーモニー管弦楽団第364回定期演奏会」演奏評 奥田佳道（音楽評論家）



写真提供=仙台フィルハーモニー管弦楽団

仙台フィルハーモニー管弦楽団第364回定期演奏会

日時：2023年6月16・17日

会場：日立システムズホール仙台 コンサートホール

指揮：高関 健

ピアノ：ルウオ・ジャチン

ソプラノ：中江 早希

演奏曲目：

芥川也寸志：弦楽のための三楽章

サン＝サーンス：ピアノ協奏曲第2番 ト短調 作品22

マーラー：交響曲第4番 ト長調

創立50年を寿ぐ仙台フィルハーモニー管弦楽団の定期演奏会への出演。しかも今シーズンから常任指揮者に就任した高関健の職人技極まるタクトに導かれ、サン＝サーンスの機知に富んだピアノ協奏曲第2番ト短調作品22を弾くとは、若手にとってこれ以上は考えられない晴れ舞台といえる。

ピアノ部門の覇者 LUO Jiaqing ルウオ・ジャチンのステージを、配信・録音は別として、初めて聴く。カタカナ表記は仙台国際音楽コンクール並びに公演主催者の仙台フィルによる。

モントリオールやボストンで多くのコンクール優勝者、受賞者を育てているダン・タイ・ソン門下。ルウオはニューイングランド音楽院で学んだということだが、会得した鮮やかなメカニックを、とくにサン＝サーンスの第3楽章プレストで遺憾なく発揮し、すでにファンの多い日立システムズホール仙台・コンサートホールの客席を大いに沸かせた。

眼前の楽想と格闘することも、また声高に主情を表現することもなく、クールに弾いてゆく。勢いあまって「突っ走る」場面があったとしても、第2楽章アレグロ・スケルツァンドでの若干のよろめきは別として、細かい音符を弾き飛ばす愚は犯さない。今どきのテクニシャンは伶俐な眼差しをもっている。サン＝サーンスのプレストを、私はまっすぐに、ひたむきに弾くという明確な美学を感じさせ、ある意味清々しい。

そんなルウオの、時に語り急ぐピアノを、決して「ひとり旅」にさせなかったマエストロ高関健の手捌きさばに大きな拍手を。ただ単に付けた、合わせたのではなく、音楽的な句読点をも授けるタクトが素晴らしい。高関は仙台国際音楽コンクール・ピアノ部門の「指揮者」でもあった。演奏評から離れるが、同コンクール・ヴァイオリン部門の「指揮者」が広上淳一、ピアノ部門が高関とは、望み得る最高のキャスティングだ。高関はヴァイオリン、ヴィオラも弾くので、もちろんヴァイオリン部門にもふさわしい。

（裏面に続く）



とにかく弾けるルウオ・ジャチンに課題があるとすれば、経過句的なパッセージにおける音色のあり方で、小気味よくてもモノトーンで駆け抜ける傾向がみられること。目立たぬ箇所を一气呵成に弾くのは若者の「特権」で、ある時期にはそうしたスタイルがあってもいいと思うが、世界の檜舞台に名乗りを挙げようとしている彼ならば、曲が内包する独特の戯れや遊戯性を、さらに浮き彫りにすることが出来たはずだ。何でも弾けるアジアの俊英から、古典の様式美や音階風の調べにも親和性を発揮し、共演者や聴衆とともに豊潤な空間を創るピアニストのなかのピアニストへ。彼はその可能性を大いに持っている。それゆえの欲を記した。仙台国際音楽コンクール優勝で檜舞台へのパスポートを手にした訳だが、さあこれからである。

今回最も感銘を受けたのは、サン＝サーンス冒頭のトッカータ的なフレーズに添えられた音楽の深い息づかいとその後の展開で、芯も広がりもある中低音がホールと劇的に呼応。高音域もメタリックな響きに陥ることなく、美しく歌われた。ルウオはコンクールのときから SHIGERU KAWAI に惚れ込んでいるという。お気に入りの楽器との相乗効果があったとすれば、それも彼の實力だ。そしてルウオが拓くであろう次なる地平は、アンコールのシューマン「予言の鳥」（森の情景作品 82 の第 7 曲）で示されたのではないか。

新星ルウオに寄り添った高関健と仙台フィルは、芥川也寸志の佳品「弦楽のためのトリプティック（三楽章）」とマーラーの交響曲第 4 番ト長調を通じ、緊密なアンサンブルを披露。新時代を高らかに奏でるいっぽう、高弦、中弦の立体感や構築性など、将来への課題もいくばくか示した。作曲家の本音に迫るべく、スコアの細部に「こだわる」知将高関の信頼に応え、多様な解釈が可能な「天上の生活」を純度高く歌ったソプラノ中江早希に喝采を。

今後のルウオ・ジャチン副賞公演情報をお知らせします。

- 名古屋フィルハーモニー交響楽団 コバケン・スペシャル 2023  
2023年8月31日（木）愛知県芸術劇場 コンサートホール
- ルウオ・ジャチン ピアノリサイタル【名古屋公演】  
2023年9月8日（金）宗次ホール
- 野島稔メモリアル「中野りな&ルウオ・ジャチン デュオリサイタル  
～第8回仙台国際音楽コンクール優勝者による夢の共演～  
2024年3月31日（日）日立システムズホール仙台 コンサートホール

### 第8回仙台国際音楽コンクール公式ライブCD発売中!

#### 中野りな ヴァイオリン部門優勝

FOCD9875  
〔収録曲〕  
モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲 イ長調 K219  
バルトーク：ヴァイオリン協奏曲 第2番 Sz112  
〔指揮〕広上 淳一  
〔管弦楽〕仙台フィルハーモニー管弦楽団



#### ルウオ・ジャチンピアノ部門優勝

FOCD9876  
〔収録曲〕  
モーツァルト：ピアノ協奏曲 ハ長調 K503  
プロコフィエフ：ピアノ協奏曲 第2番ト短調 op.16  
〔指揮〕高関 健  
〔管弦楽〕仙台フィルハーモニー管弦楽団

定価：2,640円(税込)

取り扱い：全国のCDショップほか

販売元：株式会社フォンテック

制作：公益財団法人仙台市市民文化事業団